

### 編輯室の内外

産業立國策なんて、夢のやうなことを標榜してゐた政友會内閣になつて、其の看板通りを實行するかドーか、編輯子は疑視してゐたが、ドーやら眞に實行する心積りらしい、原内閣當時に立案した道路改良計畫が、歴代の内閣に依つて蹂躪されてゐたことに憤慨した譯ではない、自動車の發達に依つて道路が鐵道以上に交通上の効果を有する事に氣附いた爲であるさうな、そこで産業を進展せしむる爲には、是非道路の改良を策さなければならぬと言ふ事に爲つた遅時きながらの計畫であるが變めてやる。

原内閣時代の計畫を第一期と第二期に區

別し、緊急なものを第一期事業として三年度以降十年間に改良する計畫と、此外更に重要府縣道の改良を助勢する計畫との二つが樹てられてゐる、憲政會内閣時代に金の要ることを計畫してはならぬと、嚴命を受け、金のかゝらぬ法律の立案だけに耽つてゐた御隣りの道路課では、俄に春が來たやうな氣分で燥やいでゐる、寔に御目出度いことではあるが、大藏省に豫算の要求書を送つたときに、道路公債法なんて半分死んでゐる法律を振り廻して、尨大な豫算を要求するなんか、我國現時の財政を知らぬにも程があると言つて、毎年のやうに一蹴されない様に奮闘して貰ひ度い。いつも豫算編制時期になると、大きなことを言つてゐるが、議會に提出される時分には消えて無

くなつてゐる、道路課の諸公、畫餅ばかりが能て無い。

繰延削減居士事、長岡理事から通信があつた、何れ連續するであらう、路政價が厭味を言ふから書くが、赤道直下で暑くて書けないとある、之を觀た武井幹事、御腹のなかのアルコールの勢でないかと、是れは本人に内證(た)

本號定價 五拾錢  
 一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内  
 發行所 社團 道路改良會  
 法人 道 路 改 良 會  
 發行所 上 山 陸 造  
 編輯者 上 山 陸 造  
 東京市小石川區諏訪町五十六  
 印刷所 常 磐 印 刷 所  
 印刷者 堀 江 關 武